

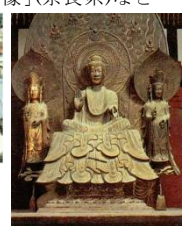
時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
旧石器				<p>BC BC3000…メソポタミア文明・エジプト文明</p> <p>1949年に相沢忠洋が発見した岩宿遺跡(群馬県)から、日本にも旧石器時代があり、狩りや漁の洞窟生活をしていたことが分かる。</p> <p>[1万年前]</p> <p>日本列島が大陸から離れたことはナウマン象の化石(長野県野尻湖)から分かる。</p> <p>BC 300</p> <p>縄文の後期に、大陸から稲作や金属器が伝わってきたと考えられている</p> <p>縄文時代最大の三内丸山遺跡(青森県)、大人の平均寿命は30歳位で死者のほうむり方に差がないことから、貧富の差や身分の違いが少ない社会だったと考えられる。</p> <p>縄文時代最大の三内丸山遺跡(青森県)、大人の平均寿命は30歳位で死者のほうむり方に差がないことから、貧富の差や身分の違いが少ない社会だったと考えられる。</p> <p>モースが発見した大森貝塚(東京都)・加曽利貝塚(千葉県)・鳥浜貝塚(福井県) 磨製石器・骨角器・弓矢・土偶(魔よけ)</p>    
縄文	縄文			<p>BC 2500</p> <p>インダス文明・黄河文明</p> <p>BC 776</p> <p>ギリシャのアテネで第1回オリンピック開催</p> <p>BC 221</p> <p>秦の始皇帝が中国を統一</p> <p>[中国への使い]</p> <p>AD</p> <p>日本(倭)は100余国に分かれていた。…「漢書」地理志</p> <p>最大の環濠集落の吉野ヶ里遺跡(佐賀県)と弥生後期の登呂遺跡(静岡県)。</p> <p>高床倉庫と弥生土器。銅剣・銅鉾・銅鐸・銅鏡の青銅器や鉄器をまつりに使用。</p>      
弥生	弥生			<p>日常生活では石包丁などの磨製石器や田げた・くわ・すきなどの木器を使用。</p> <p>27 ローマ帝国の成立</p> <p>57</p> <p>倭国さん、57の末に金印を</p> <p>倭の奴国が後漢に使いを送り、光武帝から金印を授かる。</p> <p>…「後漢書」東夷伝</p> <p>189</p> <p>ヒミコさん、189(一躍)日本の女王に</p> <p>卑弥呼が邪馬台国の女王になる。</p> <p>239</p> <p>魏の23、9しいときには助けてね…by卑弥呼</p> <p>卑弥呼が魏に貢物を送り、金印を授かる…「魏志」倭人伝</p>   
古墳	古墳			<p>[大和朝廷の国土統一]</p> <p>大和朝廷が国内を統一。氏とよばれる豪族の集団に臣・連の姓をあたえる氏姓制度。</p> <p>大臣(財政)の蘇我氏と大連(軍事)の物部氏。</p> <p>3世紀半ばから7世紀末頃までの約400年間に東北から南九州まで古墳がつくられる。五色塚古墳(兵庫県)・藤の木古墳(奈良県斑鳩)・大山古墳(仁徳陵古墳・大阪府堺市)・稲荷山古墳(埼玉県)などの前方後円墳</p> <p>414</p> <p>朝鮮半島に勢力をのぼそうとした大和朝廷が、高句麗の好太王(広開土王)に撃退される…「宋書」倭国伝</p> <p>478</p> <p>478とは、助けてくれない南朝さん</p> <p>倭王の武(ワカタケル大王)が、朝鮮半島の加羅の国の支配を認めてもらうために南朝に使いを送る。</p>    

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
古墳 文化	古墳 文化	中国	朝鮮	<p>5世紀ごろに漢字が伝来する。朝鮮から渡ってきた渡来人たちが、養蚕やはた織り、鉄製の農具・陶器づくりなどを日本に伝える。</p> <p>513 百濟から儒教が伝来。</p> <p>538 百濟から仏教が伝来する。仏教を取り入れようとする聖徳太子と蘇我氏、それに反対する物部氏が対立し、蘇我氏が勝利。 [聖徳太子の政治]</p>
				<p>593 撰政の仕事はとて593、太子に感謝の推古さん 聖徳太子が推古天皇(女性で最初の天皇で太子のおば)の撰政になり、 蘇我馬子の助けを得て、中央集権国家を目指した政治を行う。</p>
				<p>603 12階、位はくれても6(禄…給料のこと)03 聖徳太子が冠位十二階の制度を定める。</p>
				<p>604 役人は太子に604と十七条 聖徳太子が憲法十七条の制度を定める。</p>
				<p>607 隋の王607太子と妹子に怒る 聖徳太子が、第1回遣隋使の小野妹子を隋に送る。</p>
				<p>…[随書]倭国伝 610 絵の具・紙・墨が伝わってくる 栄えた仏教文化で、古墳に代わり寺院が豪族の勢力を示し、インドやペルシャ・ギリシャの影響を受けた文化</p>
				<p>630 荒海に、630かけての遣唐使 大上御田鍬(第5回遣隋使と第1回遣唐使) を唐に送る 遣唐使は630~894まで派遣</p>
				<p>[大化の改新] 645 大化(大災)で蘇我を、64で5ろした皇子かな 天皇中心の中央集権国家をつくらうとする中大兄皇子 (天智天皇)と、氏姓制度を守ろうとした蘇我氏が対立し、 藤原氏の先祖の中臣鎌足の協力を得た中大兄皇子 が蘇我氏を滅ぼした大化の改新がおこる。</p>
				<p>646 班田は、64がよすぎて6理なのよ 6年ごとに戸籍をつくり、それに基づき口分田(6歳以上の男子に2反、女子にその3分の2)を与え、 死んだら国家に返させる班田收授の法と、国ごとに国司・郡ごとに郡司・里ごとに里長を おいて租(穀物)・庸(布)・調(特産物)を取り立てる公地公民制からなる改新の詔が出される。</p>
				<p>663 唐と新羅に勝とうとは、とて6理6理3 白鳳文化…大化の改新~平城京に都を 中大兄皇子が朝鮮に出兵した白村江の戦いに敗れ、移す前までの中国文化の影響を受けた文化 中国が攻めてくることを恐れて九州の守りを固める。高松塚古墳(奈良県)の壁画→ 668 法隆寺金堂の壁画 中大兄皇子が天智天皇に即位し、滋賀県大津 薬師寺東塔・薬師三尊像 に都を置く。</p>
<p>672 人心(壬申)思う、身内争い6理7の2 天智天皇の子の大友皇子と天智天皇の弟の大海人皇子(天武天皇)との身内争いの壬申の乱 がおこる。</p>				
<p>[律令国家の成立] 持統・文武・元明天皇の時代 694 藤原で、南を694持統さん 持統天皇(天智天皇の娘で天武天皇の妃)が藤原京(奈良県明日香村)をつくる。天武天皇が日本 で最初の貨幣の富本銭をつくらせる。</p>				
<p>701 文武が言った、大宝律令701番 文武天皇(持統の孫)の命令で藤原不比等が律(刑法)と令(行政)からなる大宝律令を編集。</p>				
<p>676 新羅が朝鮮半島を統一</p>				



冠位十二階

大德	小德	小仁	大礼	小礼	小信	大義	小義	小智	小智
紫	青	赤	黄	白	黒	紫	青	赤	黄



時代	文化	中国	朝鮮
飛鳥			
710			
奈			
天		シル	新
良		唐	羅
平			
文			
化			
794			
平			
安			

関連することがら・文化・覚え方

708(和銅元年) **元明が和同の708る和同開珎**
 元明天皇(文武天皇の母)が**和同開珎**をつくらせる。しかし、物々交換が中心だった。



710 **710りっぱな平城京、作った元明あっぱれよ**
 元明天皇が奈良市の西に、唐の長安を手本にした**平城京**をつくる。

国府(国司の役所)を結ぶための道路整備。**木簡**から分かる当時のようす。
 くわやすきなどの鉄製農具が広まり、荒地の開墾がすすむ。



712 **こんな歴史書今まで712**
 元明天皇の命で**稗田阿礼・太安方侶**により、最古の歴史書の**古事記**が作られた。

713 元明天皇の命で各地の産物や地名や伝説などを記録した地理書の**風土記**が作られた。

720 **7が20の日本書紀**
 舎人親王らによって、神代から持統天皇までを漢文で記した本格的歴史書の**日本書紀**が作られた。



[律令政治の乱れ]
 723 **723世までしか認めない…そりゃ、ダメだ**
 開墾した田を、孫の三世までは個人の土地と認める**三世一身の法**が出された。

730 **光明皇后**(聖武天皇の皇后で藤原不比等の娘。皇族以外で初めての皇后)が**施薬院・悲田院**をつくる。

741 **聖武天皇**(文武天皇の子)が国内を仏教の力で治めようと、全国に**国分寺・国分尼寺**を建て、それらの総国分寺として**東大寺**をつくる。



743 **大仏さん、752なって日本の平和…by 行基**
 聖武天皇が東大寺**大仏建立**の**詔**を出す。



行基らの協力による大仏完成は**752年**。
同年 **田畑取られる心配743、こんでえいねん私財法**
 開墾した田畑は**永年(永久)**に自分のものにしてよいとする**墾田永年私財法**が出される。
 このことで私有地の**荘園**が増えて、**不輸の権・不入の権**を使った貴族や豪族たちの権力が大きくなって天皇の力が弱まり、今までの律令政治の**公地公民制**がくずれるもとなった。

759 **天平文化**
 唐から渡ってきた**鑑真**のために聖武天皇が**唐招提寺**を建立。
 聖武天皇の天平年間に平城京を中心に栄えた仏教色の強い貴族文化。**校倉造**で建てられた東大寺**正倉院**に聖武天皇の遺品が納められている。



(仏教権力をあらわすできごと)
 [律令政治の建て直し]

784 **長岡京、平安京への784ゴ**
桓武天皇が**長岡京**(京都府長岡)に都を移すが失敗する。



万葉集(大伴家持?)
 仁徳天皇の歌から759年までの4500首の歌集。**山上憶良**が農民の苦しい暮らしを歌った**貧窮問答歌**もこの中におさめられている。

794 **平安へ引越し禁止で坊さん794桓武さん**
桓武天皇が政治と仏教を切り離すため、**平安京**(京都)に都を移す。



797 **坂上田村麻呂**が初代征夷大將軍に任命され、東北(蝦夷)の蝦夷(アテルイ)を討伐する。
 その後、強い力を持っていた蝦夷(安倍氏)が勢力を拡大する。

805 唐から帰国した**最澄**が**天台宗**を開き、**比叡山**に**延暦寺**(滋賀県大津市)を建てる。この時代の寺院は天皇に対抗するほどの権力をもっており、寺や**荘園**を守る戦いのための僧兵をおいていた。**延暦寺**(後に信長が焼き払う)の**山法師**が有名で、**義経**につかえた**弁慶**も僧兵である。

関連することがら・文化・覚え方

時代	文化	中国	朝鮮
			新羅
			唐
			五代十国
			北宋
			南宋
			高麗
			南

806 唐から帰国した空海が真言宗を開き、高野山に金剛峰寺(和歌山県)を建てる。

[摂関政治のもと]

藤原氏が自分の孫を天皇にし、天皇が幼いときは摂政、成人してからは関白となる摂関政治を行い、実権をにぎった時代。

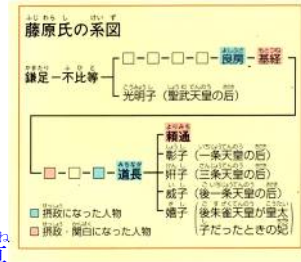
平安時代の貴族の邸宅の寝殿造り↓

866 藤原良房が皇族以外で初めての摂政になる。

887 藤原基経が初代の関白になる。

894 菅原道真の意見で遣唐使が廃止され、かな文字が生まれて国風文化ができた。

菅原道真は藤原氏との勢力争いに破れて太宰府(福岡県)へ流された。(学問の神様)



阿	安	安	あ	あ
伊	以	以	い	い
宇	宇	宇	う	う
江	衣	衣	え	え
於	於	於	お	お

[地方武士の反乱]

939 将門で関東地方はきな939、純友で瀬戸内海は939てたまらん
 関東地方では、豪族が自分の土地を守るため、武装して国司に対抗した反乱の平将門の乱
 が起こり、瀬戸内海では藤原純友の乱が起こる。これらは、ほかの武士の力を借りなければ
 静めることができないほどに朝廷の力が弱っていることを示すできごとである。

[摂関政治の全盛] 藤原さん、道長くて頼通したの?
 1016 長い道の10くから16んな人が買物(荘園の)

藤原道長が摂政になる。

国風文化

1017 藤原頼通が摂政になって多くの荘園をもち、権力をふるう。
 竹取物語(かぐや姫...作者不詳)
 古今和歌集(紀貫之ら 905) 土佐日記(紀貫之 935)
 今昔物語(作者不詳 1110年頃)

1051 源頼義と源義家が朝廷の命で、源氏物語(紫式部1007年頃) 枕草子(清少納言)
 安部氏(岩手県の豪族)を征伐する 源氏物語絵巻・鳥獣戯画(鳥羽僧正)
 前九年の役がおこる。

平安仏教

1083 源義家が清原清衡を助けて、清原氏の内輪もめ(秋田県)をしずめた後三年の役
 がおこる。その後、清原氏は藤原氏を名乗り、3代にわたる栄華を極めた。
 社会不安が広がった平安時代後期から、阿弥陀仏を信じて念仏をとこなえることで、
 死後は極楽に行けるとする浄土教(空也・源信)がさかんとなり、阿弥陀堂建築が広まった。

[院政] 藤原氏の力をそぐために、院政開始は1086な、白河はん

1086 藤原氏と血縁関係がない白河上皇が、武士を使って藤原氏をおさえるための院政を始める。

法成寺(京都府・藤原道長)

平等院鳳凰堂(京都府宇治市)

・藤原頼通の阿弥陀如来像

は定朝の最高傑作

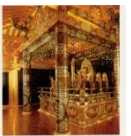
1156 保元は、そろそろ1156勝ち戦
 京都で崇徳上皇と弟の後白河天皇が戦う
 保元の乱がおこり、平清盛と源義朝を
 従えた後白河天皇が勝利する。

中尊寺金色堂(岩手県平泉)に

奥州の藤原清衡らのミイラを安置

1159 1159(よい時刻)に源氏に勝った平治(平氏)の乱

京都でおきた平清盛と源義朝の戦いの平治の乱で勝利した平氏が全盛期となる。



時代	文化	中国	朝鮮
平 安	国 風 文 化		
鎌 倉	文 化	なん 南	高 麗
くら 倉			

関連することから・文化・覚え方

生活…平安時代から節分・七夕・ひな祭り・祇園祭などの行事が始まっている。

[平氏の政権]

1163 宋の朱子が朱子学をおこす

1167

平清盛が、今まで貴族が就いていた位の太政大臣になる。

[日宋貿易を始める]

平清盛が大輪田泊(現在の神戸港)で日宋貿易を始める。

貿易は鎌倉時代の中頃まで続き、厳島神社(広島県宮島)がこの貿易の守り神である。

[源氏の政権] 江戸時代まで約700年間続く武家政権の始まり

1180 頼朝はん、そろそろ1180平氏を倒すと…by 京都弁

源頼朝(静岡県伊豆)と源義仲(長野県木曾)が平氏を倒すための兵をあげる。

1184

源義経(頼朝の弟で源義朝の九男で幼名を牛若)が一の谷の戦い(神戸市須磨区)で勝利する。

1185 つくった鎌倉幕府

平氏が屋島の戦い(香川県高松)で敗れ、続く壇ノ浦の戦い(山口県下関)で滅亡する。源頼朝が鎌倉幕府を開く。

幕府は、御恩(家来に領地を与える)と奉公(主君に仕えて戦に行く)からなる封建制度のしくみ。そして、源頼朝が

義経の討伐を理由に、国ごとに守護(軍事と警察の任務にあたる役職)と地頭(守護の下で荘園や公領で租税の取り立てや治安の維持にあたる)をおく。

1189

源頼朝が奥州藤原氏(義経を保護した)を平定する。

1192 たのむよ、いい国大將軍

源頼朝が征夷大將軍になる。

[北条氏の政治] 北条氏による執権政治の時代

1202

2代將軍になってまもない源頼家が、北条氏と対立して殺される。

1203

源実朝が3代將軍になるが、北条氏が実権をにぎっていたため、力をふるえず、最後は北条義時にそそのかされた公暁(源頼家の子)に暗殺された。

3代將軍のもとで、初代執権になった人物が北条時政で、その娘が源頼朝の妻の北条政子、政子の弟が2代執権の北条義時である。

1221

後鳥羽上皇(朝廷)が政権を取り戻そうとし、執権の北条義時を討てと命令した承久の乱がおこる。しかし、義時によって隠岐(島根県)に島流しにされた。このあと、義時が朝廷を監視するための六波羅探題を京都に設置する。

1232

3代執権北条泰時が、武士がつくった最初の法律の御成敗式目を制定する。

[元寇]

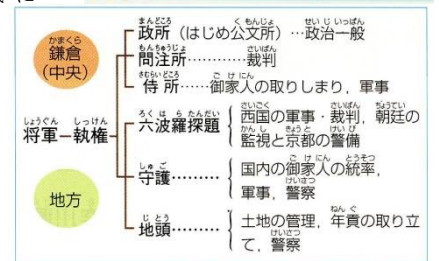
1271 モンゴルの5代皇帝のフビライ=ハン

1274 文永で元軍上陸、1274

朝鮮の高麗を従えた元(フビライ=ハン)が博多湾に攻めてくる文永の役がおこる。

(チンギス=ハンの孫)が中国を占領して元をつくる

1279 宋が滅びる



鎌倉仏教…宋の影響を受けた仏教

浄土宗(法然)

臨済宗(禅宗。栄西)

浄土真宗(親鸞。一向宗)

曹洞宗(道元) 法華宗(日蓮)

時宗(一遍)



1206 チンギス=ハンがモンゴル帝国を築く



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
鎌倉文化	鎌倉文化	げん元	高麗	<p>1281 時宗がベストの1281を弘安(考案) 元が14万の大軍で再び北九州に攻めてくる弘安の役がおこる。 このとき、8代執権北条時宗が元を退けた。</p> <p>1297 武士と借金1297 恩賞がもらえなかった御家人の不满をそらすため、最初の借金 取消令である永仁の徳政令が出るが、効果はなかった。</p> <p>1318 後醍醐天皇が即位する</p> <p>1332 後醍醐天皇が隠岐(島根県)に島流しになる。</p> <p>1333 鎌倉の幕府にとどめを1333 後醍醐天皇が政権を朝廷に取りもどそうとして 河内(大阪府)の楠木正成や御家人の足利尊氏(六波羅探題 を攻める)・新田義貞(鎌倉を攻める)の協力で鎌倉幕府 を倒した。</p> <p>生活 鎌倉時代から月3回の定期市が開かれるようになり、市では宋銭が使われ、座(同業組合) や問丸(年貢の運送業者)があらわれた。</p> <p>農業 鎌倉時代の中ごろから、牛馬を耕作に利用し、草木の灰や牛馬の糞を 肥料に用いるようになり、西日本では稲の裏作に麦をつくる二毛作が 始まり、やがて関東地方にも広まる。</p> <p>文学 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金塊和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p> <p>文庫 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金塊和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p>
				<p>1299 マルコ・ポーロが東方見聞録を著す</p> <p>鎌倉文化 ←円覚寺舍利殿(鎌倉市) 天竺様の東大寺南大門 南大門の金剛力士像↓</p> <p>文学 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金塊和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p> <p>文庫 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金塊和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p>
南北朝	南北朝	げん元	高麗	<p>1334 後醍醐は、天皇復活1334やいと言ったそうじや 後醍醐天皇が建武の新政を始めるが、公家や寺社に恩賞が多く、武士には 少なかったため、武士の不満が続出し、新政はわずか2年で終わる。 [南北朝の動乱]</p> <p>1335 足利尊氏が、後醍醐天皇方についた楠木正成と新田義貞を破る。</p> <p>1336 足利尊氏が光明天皇をたてて北朝(京都)を、後醍醐天皇が吉野(奈良県)に南朝をつくる。</p> <p>[室町幕府] 1338 尊氏が後醍醐の1338退治した 足利尊氏が征夷大將軍になり、執権に代えて管領を おいた室町幕府を開く。</p> <p>1368 足利義満が第3代將軍になる。</p> <p>1378 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p> <p>1392 足利義満が南北朝を合一する。足利義満が建てた金閣は、義満の死後に 鹿苑寺になっている。1階が阿弥陀堂・2階が観音殿・3階が禅宗様のつくり で、北山文化の代表建築物。</p> <p>北山文化 太平記(小島法師か)・能楽(観阿弥・世阿弥)→ 狂言→</p>
室町幕府	室町幕府			<p>1368 足利義満が第3代將軍になる。</p> <p>1378 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p> <p>1392 足利義満が南北朝を合一する。足利義満が建てた金閣は、義満の死後に 鹿苑寺になっている。1階が阿弥陀堂・2階が観音殿・3階が禅宗様のつくり で、北山文化の代表建築物。</p> <p>北山文化 太平記(小島法師か)・能楽(観阿弥・世阿弥)→ 狂言→</p>

時代	文化	中国
きた北	やま山	文化
むろ室	まち町	朝鮮
ひがし東	やま山	文化

朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
	<p>[日明(勘合)貿易]</p> <p>1404 足利義満が明に貢物を持っていく形の朝貢貿易を始める。朝鮮や中国を荒らした日本人の海賊(倭寇)と貿易船とを区別する勘合という合札を使ったために勘合貿易とよばれる。遣明船の帆は藁でできているため、雨にぬれると重くなり転覆しやすかった。銅銭・生糸・薬草を輸入し、金・銅・硫黄・刀・おうぎなどを輸出した。</p>  <p>[室町幕府のおとろえ]</p> <p>1428 正長は徳政勝ち取り1428< 近江国(滋賀県)で徳政令を要求した正長の土一揆がおこる。</p>  <p>1429 尚巴志が琉球王国をつくる。</p>  <p>1449 足利義政が第8代将軍になる。足利義政が建てた銀閣は義政の死後は慈照寺になっている。1階が和風建築のもとになった書院造で、2階は禅宗様というつくりである。</p>  <p>1467 義政さん、後継ぎ指名は1467 足利義政の後継者争いから応仁の乱がおこり、戦の11年間で京都が焼け野原となった。</p> <p>銀閣(書院造) 山水長巻(雪舟)↓ お伽草子(一寸法師など) 浄瑠璃・茶の湯 生け花・連歌(宗祇)</p>  <p>1485 1485っばい、山城一揆 山城(京都)の国人(地方の小領主)が山城の国一揆をおこし、農民と団結して守護の畠山氏を追い出し8年間の自治を行った。</p> <p>李氏朝鮮</p> <p>1488 宗教の1488強し、一向一揆 加賀国(石川県)で一向宗(浄土真宗・親鸞)の信者が中心になって、加賀の一向一揆をおこし、守護の富樫氏を滅ぼして100年間あまりも加賀の国を支配した。</p> <p>商業・生活</p> <p>定期市が月6回となり、宋銭のほか明銭(永楽通宝)が大量に使われた。また、問丸が問屋に発展し、馬を使って運送する馬借や土倉・酒屋の高利貸業者も現れた。1日の食事が2食から3食になり、とうふ・まんじゅうもつくられ、祭り・盆踊り・正月・節句などの行事も始まった。小袖とよばれる衣服ができ、江戸時代に袂が長くなって現在の着物の形ができあがった。左は平安時代に始まり、しばらく中絶され、この時代に復活した京都の祇園祭。</p>  <p>農業</p> <p>二毛作が関東にも広まり、稲の品種改良も進み、早稲や晩稲などもつくられ、水車で水を上げ、肥料に灰や人糞を使うことで農業生産力を高めた。農民たちは寄合を開いて村の自治を行う惣村のしくみもできている。日朝貿易も始まり、木綿やにんじんが輸入され、茶やうるし・ごま(油)などの栽培も増え、各地に特産物ができた。宇治(京都)の茶・紀伊(和歌山県)のみかん・甲斐(山梨県)のぶどう 三河(愛知県)の綿花など。</p>  <p>[下剋上の世]</p> <p>室町幕府の力が弱くなり、各地の守護大名が戦国大名になって城下町をつくり分国法で自国を統治していた時代。</p> <p>武田信玄(甲斐国、山梨県) 毛利元就(中国地方) 今川義元(駿河国・静岡県) 上杉謙信(越後国、新潟・山形県) 織田信長(尾張・愛知県)など。</p>  <p>1492 コロンブスが西インド諸島を探検 1519 マゼランが世界周航に出発</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
むろ室 まち町	桃 山 文 化	明	李 氏 朝 鮮	<p>1543 鉄砲もって1543さあ、勝ち戦 ポルトガル人が種子島に漂着して鉄砲を伝える。その後、堺(大阪府)や国友(滋賀県)で鉄砲が大量につくられ、戦のやり方が変化した。</p> <p>1549 以後よくくるキリスト教 スペイン人のフランシスコ・ザビエル(イエズス会)が鹿児島に上陸してキリスト教を伝える。織田信長が仏教勢力を抑える目的で、キリスト教を保護したため、大名の中にもキリスト教信者(キリシタン)がいた。</p> <p>[南蛮貿易] ポルトガルとスペインが南蛮貿易のおもな相手国で、長崎や平戸(長崎県)がおもな港である。</p> <p>このとき、スイカ・カボチャ・とうもろこし・とうがらし・ジャガイモ・タバコが日本に伝わり、各地で栽培が始まった。</p> <p>[織田信長～豊臣秀吉]</p> <p>1560 桶狭間1560信長くん わずか3千人の信長軍が、3万人の兵の今川義元を破った桶狭間の戦い(愛知県)に全国の武将が衝撃を受ける。</p> <p>1571 織田信長が天下統一の妨げとなる仏教勢力の延暦寺を焼き討ちし、神仏をおそれぬその行動を世の人々が恐れた。</p> <p>1573 義昭は追放されて1573 織田信長が役に立たなくなった15代将軍足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼす。</p> <p>1575 鉄砲に負けてしまって1575た…by武田騎馬隊 織田・徳川の連合軍が、日本最強といわれた武田勝頼(山梨県)の騎馬隊を鉄砲で破った長篠の戦い。</p> <p>1576 信長が琵琶湖の東岸に安土城を築き、楽市・楽座の政策をとって商工業を発展させた。</p> <p>1582 1582に信長沈む本能寺 明智光秀の謀反で信長が自害する本能寺の変(京都府)がおこる。同年、豊臣秀吉が山崎の戦いで光秀を討ち、自分が信長の後継者であることを他の大名たちに示した。</p> <p>同年、秀吉が山城国の検地を行う。検地帳をつくり、石高を調べて、取り立てる年貢を安定させること、農民を土地にしばりつけることなどが検地の目的。結果、武士と農民の身分が区別(兵農分離)され、荘園は完全に無くなり、全国の土地と農民が武士の支配化に置かれることになった。</p> <p>1583 豊臣秀吉が、信長が滅ぼした一向宗(浄土真宗)の総本山の石山本願寺の跡地に大阪城を築き、信長と同じく楽市・楽座の政策をとった。以後、大阪は天下の台所とよばれる政治経済の中心地に発展する。</p> <p>1585 もとは農民の出身の豊臣秀吉が関白の位につく。</p> <p>1586 豊臣秀吉が貴族の最高位の太政大臣の位につく。</p> <p>1587 人間の平等を説くキリスト教は全国支配のさまたげになったため、秀吉が宣教師国外追放令を出してキリスト教を禁止した。しかし、スペインやポルトガルとの貿易はそのまま続けたため、その効果はなかった。</p>
				       

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方			
あづ ち土 桃山	桃 山 文 化	中国	朝鮮	<p>1588 秀吉は刀を取り上げ1588 以後バツバ 1588 イギリスがスペインの無敵艦隊を破る</p> <p>秀吉が一揆防止の目的で刀狩令を出す。これで兵農分離と職業と身分の変更の禁止が完成。</p> <p>1590 秀吉が、四国と九州、伊達氏(東北)に続き、小田原の北条氏(神奈川)を平定して全国統一をなしとげる。</p> <p>1591 秀吉が、茶道を大成した千利休に自害を命じる。</p> <p>[秀吉の朝鮮侵略] 秀吉が中国の明を征服しようと李氏朝鮮に協力を求めたが、断られたため2度にわたり朝鮮に兵を送ったできごと。この戦いが豊臣氏衰えの原因となった。 このときに朝鮮の陶工を連れ帰って得た彼らの技術によって、有田焼・伊万里焼(佐賀県)薩摩焼(鹿児島県)秋焼(山口県)が始まった。</p> <p>1592 1592に攻め入る文禄くん 文禄の役</p> <p>1597 豊臣秀吉、1597…by長さん 慶長の役</p> <p>1600 関が原、東軍西軍1600 徳川家康が関が原の戦い(岐阜県)で、豊臣方の石田三成を破り天下を取った戦い。 リーフデ号で漂着したヤン=ヨーステン(オランダ人)とウィリアム=アダムス(イギリス人)が家康の外交の相談役になっている。</p> <p>[江戸幕府]と[朱印船貿易] 家康は、大きな利益を得られる貿易に力をいれた。 朱印状をもった朱印船が東南アジアに出かけ、日本町をつくった。生糸・絹織物・鹿の皮・鉛などを輸入して、銀・銅・硫黄・刀などを輸出した。</p> <p>1603 家康は、徳川幕府の1603 徳川家康が征夷大将軍になる。</p>	<p>南蛮文化の影響を受けた豪華で雄大な文化</p> <p>安土城や聚楽第(秀吉の京都の邸宅)</p> <p>姫路城(白鷺城)…兵庫県姫路市にあり、秀吉が三層の天守閣を築き、自分の居城にした。</p> <p>襖絵や屏風絵の障壁画</p> <p>唐獅子図屏風(狩野永徳)→牡丹・紅梅図襖絵(狩野山楽)</p> <p>楓図・桜図襖絵(長谷川等伯)</p> <p>出雲阿国が京都で歌舞伎踊りを開く。</p> <p>生活 小袖が広まり、瓦屋根が用いられるようになる。庶民に三味線が広まる。</p>	      	
				1603	元	鮮	<p>徳川家康が征夷大将軍になる。</p> <p>家康は江戸城を居城とし、約260年も続く徳川政権を築く。全国の4分の1の天領を治め、旗本・御家人を従える軍事力を持ち、尾張(名古屋)・紀州(和歌山)・水戸(茨城)の御三家からなる親藩から次の将軍を選ぶことや、家臣たちは譜代大名(関が原以前からの家来)と外様大名(関が原以降の家来)に分けることなどの政策をとった。</p>
					禄		
					文		
					化		
					江		
					戸		
					化		

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方	
徳川幕府	寛文 享和 天明	中国	朝鮮	<p>1605 徳川秀忠が2代将軍になる。</p> <p>1607 李氏朝鮮と正式な国交を結ぶ。以後、将軍が代わるごとに、400名からなる朝鮮通信使が12回も日本に挨拶に訪れている。オランダが平戸(長崎県)に商館を開く。</p> <p>1609 薩摩藩(鹿児島県)が琉球王国(沖縄)を征服する。</p> <p>1612 秀忠が、幕府の支配に都合が悪いキリスト教を禁止する。西国の大名が、貿易で力をつけることをおそれたこともある。(キリスト教の解禁は明治時代になってから)</p> <p>1614 大阪冬の陣がおこる。</p> <p>1615 秀忠の大名統制、いろ1615い 大阪夏の陣がおこり、豊臣秀頼と母の淀君が自害して豊臣氏が滅亡した。秀忠が大名を統制するための武家諸法度や京都所司代で朝廷を監視するための禁中並公家諸法度、一国一城令を制定する。</p> <p>1619 秀忠が農民・町民に対し、年貢の納入や、キリシタンの取りしまりなどに、五戸一組で連帯責任を負わせる五人組の制度を出す。</p> <p>1623 徳川家光が3代将軍になる。 [鎖国-長崎貿易]</p> <p>1624 家光がキリスト教の布教に熱心なスペイン船の来航を禁止する。</p> <p>1629 長崎で、キリシタンを取り締まるための踏絵(絵踏)が始まる。</p> <p>1634 長崎に出島を築き、以後の貿易はここだけで行われる。</p> <p>1635 家光が、1年は江戸に16よと、3勤5代 家光が、藩主は1年ごとに江戸と領地に住み、妻子は人質として江戸に残すことを命じた参勤交代を武家諸法度の中に制定する。 外国行けぬ、こうなりや16<35(密航)だ さらに、日本人の海外渡航と帰国の禁止も定めた。そのねらいはキリスト教の広まりを防いで、貿易による利益を独占するためと考えられる。</p> <p>1637 キリスト教信者が多い天草(熊本県)で、この地を新しく治めることになった大名が重税をかけ、キリスト教の信者をきびしく取りしまったため、16歳の益田四郎時貞を頭とした島原・天草一揆(長崎・熊本県)がおこる。4ヶ月もかけて一揆をしずめた幕府は、さらにキリシタンに対する弾圧をきびしくし、同年、すべての者がお寺の檀家になること(一定の寺に属することを強制する寺請制度)をもうけた。</p>	             